



Daiwa Lease[®]
大和ハウスグループ

News Release

2022年3月30日

報道関係各位

大和リース株式会社
代表取締役社長 北 哲弥

**■みんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト「deleteC(デリート・シー)」に賛同
売上の一部が、がん治療研究への寄付になる自動販売機を設置**

大和ハウスグループの大和リース株式会社(本社:大阪府中央区、社長:北 哲弥)は、2022年4月より売上の一部が、がん治療研究への寄付になる deleteC モデル自動販売機を、自社で管理運営する複合商業施設や公共施設に順次設置します。

特定非営利活動法人 deleteC(東京都江東区、代表理事:小国 士郎、以下 deleteC)は誰もが参加できて、みんなでがんの治療研究を応援していける仕組みづくりに取り組んでおり、サントリー食品インターナショナル株式会社(以下サントリー)はその趣旨に賛同し2021年9月に deleteC モデル自動販売機の運用を開始しています。

当社は病院建設や医療機器リースなどの事業を通して deleteC の活動に賛同し、2022年2月にがん治療研究を応援するクラウドファンディングへの支援を実施。2022年3月18日(金)にリニューアルオープンした「鳥居崎海浜公園」(千葉県木更津市、当社の管理運営施設)に、当社初となる deleteC モデル自動販売機を設置しています。



deleteC モデル自動販売機

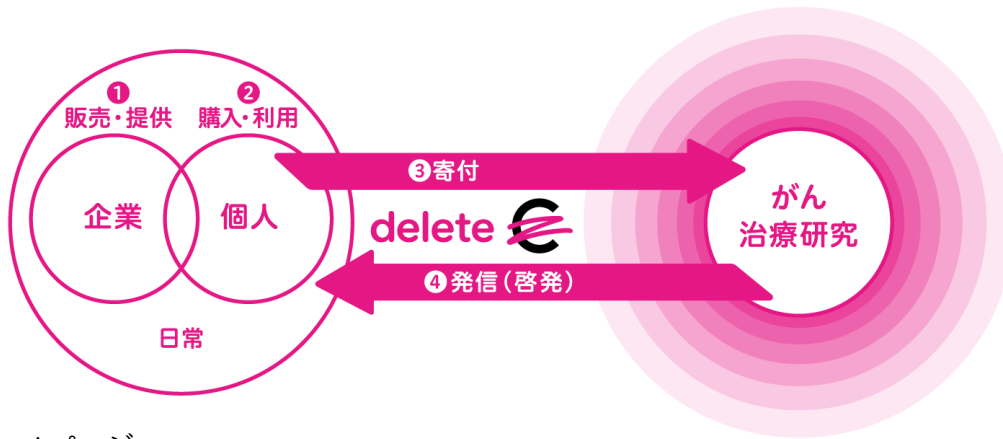
■「deleteC」プロジェクトについて

「みんなの力で、がんを治せる病気にする」ことを目的として活動するプロジェクトです。その仕組みはシンプルで、企業・団体が自身のブランドロゴや商品・サービスから Cancer (がん) の頭文字である「C」の文字を消して、オリジナル商品やサービスを開発・販売（デザインアクション）。その売上の一部が、がんの治療研究を推し進める医師・研究者に寄付されます。現在 2 人に 1 人はがんになると言われており、「deleteC」では「誰もが参加できて、みんなでがんの治療研究を応援できる仕組み」を通して「がんが治せる病気にする日」を一日でも早く手繰り寄せることに貢献しています。

※右画像はサントリーが販売する「C.C.レモン」「デカビタ C」の「C」を消したデザインラベル商品。2022 年 1 月下旬より数量限定で発売。



「誰もが参加できる」デザインアクションを通じて 寄付・発信を行い、がん治療研究を応援



■参考ホームページ

・「deleteC」ホームページ

<https://www.delete-c.com/>

・サントリーニュースリリース:「CC レモン」「デカビタ C」「deleteC ラベル」新発売 (2022 年 1 月 20 配信)

<https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/article/SBF1202.html>

・大和リースニュースリリース:「鳥居崎海浜公園リニューアルオープン」(2022 年 3 月 8 日配信)

<https://www.daiwalease.co.jp/press/220308.pdf>



「鳥居崎海浜公園」に設置している様子



本取り組みに関連する SDGs ゴール

●本リリースに関するお問合せ

大和リース株式会社 広報宣伝部 tel:06-6942-8068